

 市場価格

ドル建て ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	907.00	2023/10/30
High	944.32	2023/11/01
Low	903.10	2023/10/30
Close	934.57	2023/11/03

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4361.00	2023/10/30
High	4593.00	2023/11/01
Low	4343.00	2023/10/30
Close	4487.00	2023/11/03

ドル建て ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1122.00	2023/10/30
High	1154.00	2023/10/30
Low	1100.00	2023/11/03
Close	1119.00	2023/11/03

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	5411.00	2023/10/30
High	5574.00	2023/10/30
Low	5318.00	2023/11/03
Close	5389.00	2023/11/03



ニュースエクスプレス

**インバラ・プラチナの精練 PGM 生産、Bafokengのおかげで
9月終了の四半期は 26% 増**

10月30日、PGM 生産大手のインバラ・プラチナムは、9月に終了した四半期の 6E PGM 生産は前年同期比で 21.2% 増の 37.3 トンと発表した。

同社によると生産増は、今期から初めて Impala Bafokeng を数字に加えたこともあるが、グループの鉱山採掘と加工生産でも「大きな改善」があったことが貢献したとしている。

同社の 6E PGM 生産に含まれた Impala Canada と Impala Bafokeng の生産は、前年同期比 25.5% 増の 27.5 トン。

同社は、幸先よく2024年度をスタートさせることができたとし、生産高とコスト管理の目標を達成できるとしている。

CEO の Nico Muller 氏は、「9月で終了した四半期の好調な結果は、資産保全を目標とした投資戦略と、生産・加工過程の競争力を高めるためのプロジェクトがもたらした大胆な改善をもって、社員が状況に柔軟に対応し平穏強く取り組んだことの証である。」とコメントしている。

「生産が増加したことによって、業界全体を襲っているインフレの影響と、停電による生産への打撃は最小限に抑えられた。Impala Bafokeng を我々のグループに加えただことで、生産過程の改善努力を測めることができ、安全操業が今後の焦点となる。」

<https://www.kitco.com/news/2023-10-31/impala-platinum-s-refined-pgm-production-up-26-in-sept-qr-due-to-inclusion-of-bafokeng.html>

NewsJubilee Metals、クロムは減産も、将来の見通しに強気

PGMと銅の生産増を達成した Jubilee Metals Group PLC は、将来に向けて展望は明るいとしている。

同社はロンドンに本部を置き、南アフリカとザンビアで主にメタル生産を行っているが、9月30日に終わった第1四半期はクロムの生産が前期の 34万 4315 トンから 2.2% 減って、33万 6683 トンだった。

同社が南アフリカに所有する Inyoni 工場には PGM を豊富に含む 100 万トンの原料があり、第1四半期中は PGM 0.31 トンを生産し、前期の 0.29 トンから 8.2% 増となった。

さらに同社によると、電気銅と銅精鉱の生産は前期の 653 トンから 43% 増えて 934 トンとなったとしている。

https://www.morningstar.co.uk/uk/news/AN_1698849223062324900/jubilee-metals-upbeat-about-future-depite-drop-in-chrome-output.aspx

Translated by Kazuko OSAWA



WPIC直近の活動

WPIC はドイツのブレーメン市で開催された Hydrogen Technology Exhibition に参加し、出展数 500 社、スピーカー 200 人、代表参加者 8,000 人のエキスポにて、水素経済の発展が勢いづいていることを実感した。参加者らは過去 1 年間で脱炭素化を進めた政策の成果を披露してさらなる出資を求め、グリーン水素水電解装置は 2035 年までに今の 30 倍となる約 500GW 規模、生産コストも今後 10 年間でグレー水素生産と同等になると発表された。WPIC も 2030 年までには、水素関連のプラチナ需要は全体の約 2 割を占め、その大部分は燃料電池自動車の需要になると考えているが、本稿では同エキスポで発表された、自動車の燃料電池の技術革新を簡単にカバーしたいと思う。Hydrogen Tech Expo: プラチナ、エネルギー転換の重要なメタルとしての認識高まる (プラチナ展望 2023 年 10 月号) は楽天証券のウェブサイトに掲載された。詳細は以下をご覧ください。

<https://media.rakuten-sec.net/articles/-/43111>



(@wpiappn)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPIC の投資提案を勧誘するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。